

上島の文芸

弓削短歌会【弓削】

お薬師の甘茶の前の祈りなり予後の
願いを忘れし可笑し

和田 綱郎

何者か歩めるに似て丑満を目覚めて
しばし雨音を聞く

有吉 貞子

手の力おとろえ嘆けど字が書ける編
物刺しゆう出来るしあわせ

石田 富美子

歯切れよき阿古屋貝の貝柱宇和島に
きて句をいただく

上村 美智子

わかき日のわれに給いし短歌の評か
りそめならぬ因縁を思う

島田 義治

百人を越えて賢友見送りぬ十と五年
の透析生活

地元 静子

六町歩いち面に咲くチューリップ
「虹の畑」を背にし写さる

橋本 喜代子

歩かねば虎杖どっさり嫁女より剥き
てひと口花瓶に盛りぬ

平川 房子

寄り集い信濃路めぐる古希の旅車窓
遙かに尾根白く浮く

福原 洋子

そのわけを知るよしもなし咲く花に
蜂も蝶々もなか少なき

松本 悦郎

野良猫の餌欲る声を聞きながし見て

見ぬふりする私が哀し

安川 二三子

双葉吟社【岩城】

散歩道日毎に若葉萌え盛る

児島 泰

白と云う清々しきや更衣

林 七重

海見えるこの丘がすき若葉風

山元 征子

手話の子の笑顔で返す若葉風

美濃部 妃苗

夏帽子掛声高き草野球

古林 幹枝

辿りたる松山城址若葉道

伊佐 幹男

溪流の飛沫にゆるる谷若葉

田中 華丘

蚕豆に塩のひとふり夕餉かな

森本 和佳

更衣さっそうと出る試着室

田名後 望雨

山鳩の巢の大雑把若葉かな

幸本 孤燈

サマージャンボ宝くじ

1等 2億円×39本

前後賞各 5,000万円

2等 1億円×78本

発売期間 7月13日～7月31日

※この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

7月は、「社会を明るくする運動」の強調月間です

“社会を明るくする運動”とは？

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの改善更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。本運動は法務省の主唱により、毎年7月を強調月間として全国で展開され、今年で59回目を迎えます。

犯罪や非行が生まれるのは地域社会であり、また、犯罪をした人や非行のある少年の改善更生を果たす場もまた地域社会にほかなりません。再び犯罪をすることを防ぎ、非行をなくし改善更生を確かなものとするためには、本人自身の立ち直ろうとする意欲を認め、地域社会の中に受け入れ、見守り、支えていくことも不可欠です。

一方、今日、急速な少子・高齢化と核家族化が進む中で、家庭・学校における教育機能の低下、社会の規範意識の希薄化、わが国において伝統的に犯罪を抑止する要因として機能してきた地域社会の連帯機能の低下などが指摘されています。

このような中、上島町では、本年も保護司会が中心となって、広報、CATV、各種団体、学校、街頭などで本運動の意義を訴え、多くの方々の一層の理解と協力を呼びかけます。

上島町保護司会

